

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2014年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2015年3月13日（金）14時～17時00分

場所：中部大学 名古屋キャンパス 6階 610講義室

出席：名古屋学院大学（三井哲、山田義則、中田晴美）、名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田正江）、名古屋芸術大学（太田成夫）、愛知学院大学（足立祐輔）、南山大学（関谷治代）、愛知大学（中村直美、島田美津穂）、名城大学（古幡昭英）、中部大学（内藤和彦、蓑島智子、稲垣啓吾）
敬称略（8校13名出席）

議事に先立ち、理事校中部大学附属三浦記念図書館長（内藤）の挨拶および出席者全員の自己紹介があった。議事進行は理事校中部大学附属三浦記念図書館長（内藤）が担当し、下記の議題を協議した。

[報告事項]

1. 私立大学図書館協会関係、西地区部会関係

(1) 第2回東西合同役員会

西地区部会長校愛知学院大学（足立）より、第2回東西合同役員会について報告があった。協会委員会、地区理事校の旅費補助について検討するよう要望があった。

(2) 第3回西地区部会役員会

西地区部会長校愛知学院大学（足立）より資料（p.1～7）に基づき、第3回西地区部会役員会について会務報告、事業報告、決算報告等があった。次年度地区協議会交付金が増額となったこと、次年度総会では、館長講談会が総会前日となったことについて説明があった。地区協議会交付金に関連して、各地区協議会の現状確認、会費徴収の是非などの検討結果と併せ、各地区協議会の今後の活動方針について報告があった。理事校中部大学（蓑島）より、東海地区協議会については、地区協議会交付金が増額となったとしても、交付金のみでの現状の活動は困難なため、会費徴収を継続する。但し、会費基準の見直しを行っていないことにより繰越金増加の傾向があるため、今後は会費減額や活動内容の充実等を検討することを報告したと説明があった。

(3) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会

協会賞審査委員会委員校名古屋学院大学（山田）より資料（p.8）に基づき、2014年度協会賞の審査結果について報告があった。

2) 研究助成委員会

研究助成委員会委員校愛知学院大学（足立）より資料（p.8）に基づき、研究助成審査等について報告があった。

3) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員校中部大学（蓑島）より資料（p. 9～10）に基づき、海外派遣研修、寄贈資料搬送事業、海外集合研修、海外認定研修、国際図書館協力シンポジウム等について報告があった。

4) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員校南山大学（関谷）より資料（p. 11）に基づき、協会ホームページ委員会の新体制の各役割と分担について報告、説明があった。

2. 東海地区大学図書館協議会関係

運営委員校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より研修会等について報告があった。

[審議事項]

1. 2014 年度東海地区協議会事業報告および中間決算（案）について

理事校中部大学（蓑島）より資料（p. 12～17）に基づき、総会、常任幹事会等の事業報告があった。また理事校中部大学（稲垣）より 2014 年度中間決算（案）について説明があり、承認された。

2. 2014 年度東海地区協議会研究会活動報告および決算（案）について

研究会運営委員会委員長校名古屋学院大学（中田）より、資料（p. 18～21）に基づき、運営委員会、担当者会議、研究会、実務担当者研修会等の報告、および 2014 年度決算（案）について説明があり、承認された。

3. 2014 年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議活動報告および決算（案）について

理事校中部大学（蓑島）より資料（p. 22～23）に基づき、運営委員会、図書館管理運営実務責任者会議の報告があった。また理事校中部大学（稲垣）より 2014 年度決算（案）について説明があり、承認された。

4. 2015 年度東海地区協議会役員校および委員校について

理事校中部大学（蓑島）より資料（p. 24～25）に基づき説明があり、承認された。

5. 2015 年度東海地区協議会事業計画（案）について

理事校中部大学（蓑島）より資料（p. 26）に基づき説明があり、承認された。また参考として私立大学図書館協会ならびにその他関連団体行事予定も紹介された。

6. 2015 年度東海地区協議会総会（案）について

次期理事校名古屋学院大学（中田）より資料（p. 27）に基づき、2015 年度の総会について日程（5 月 22 日（金）開催予定）等について説明があり、承認された。

7. 2015 年度東海地区協議会予算（案）について

理事校中部大学（稲垣）より資料（p. 28～30）に基づき説明があった。収入の部においては、地区協議会交付金は 10 万円の増額があること、また支出の部においては、2015 年度図書館見学会開催年であること等の説明があり、承認された。

8. 2015 年度東海地区協議会研究会事業計画および予算（案）について

次期研究会運営委員会委員長校愛知大学（中村）より資料（p. 31～33）に基づき 2015 年度の事業計画および予算（案）について説明があった。図書館見学会については、バスをチャーターして関西地区の 2 校へ見学すること、「館灯」発行の編集担当については、従来は主幹事校が担当しているが、委員長校の愛知大学が主幹事校を兼ねるため、次年度においては名古屋女子大学が担当することについて説明があった。予算（案）について、研究会支援費は見学会開催の年で、従来 30 万円であるが、バスをチャーターするため 19 万円増額で 49 万円を計上している等の説明があり、承認された。

9. 2015 年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画および予算（案）について

次期理事校名古屋学院大学（中田）より資料（p. 34）に基づき 2015 年度の事業計画および予算（案）について説明があった。今後の方向性について確認があり、管理職の研修や情報交換を行う研修が他にないなどの点から、今後も継続することとした。実施内容については、今後の検討課題とし、承認された。

10. 2015 年度以降の理事校、役員校、当番校について

理事校中部大学（菫島）より資料（p. 35～37）に基づき説明があり、理事校ローテーションおよび役員校ローテーションが承認された。

2015 年度以降の東海地区協議会役員校および私立大学図書館協会役員校・当番校等については、脱退校が 2 校（四日市看護医療大学・四日市大学）あり、該当大学以降のローテーションが繰り上がることについて説明があった。また、途中加盟校が 2・3 校あると思われるので、それらの加盟校を入れるよう指摘があり、確認し再作成してメール審議（追認）することとなった。

なお、研究会主幹事校ローテーションについては、全加盟校が担当することとなっているが、今後図書館員が 1 名等の大学は、担当が難しい現状において、ローテーションの見直しや、業務委託化も含め、今後検討することとなった。

11. その他

東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議において、西地区各協議会や、東海地区大学図書館協議会にも案内状を出すこととした。

総会の資料について、製本した冊子を用意するかどうか、については理事校判断とすることとした。

以上